

**製品名: Sprouty 2 (405) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18214**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SPRY2
別名	hSPRY2; Sprouty2; SPRY2;
遺伝子 ID	10253.0
SwissProt ID	O43597
免疫原	ヒト Spry-2 の合成ペプチド

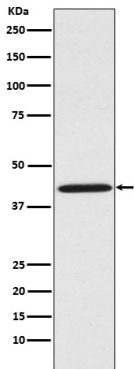
**背景**

線維芽細胞増殖因子（FGF）経路の拮抗薬として作用し、呼吸器官形成を負に制御する可能性があります。線維芽細胞増殖因子（FGF）を介した ERK1/2 のリン酸化を阻害することにより、FGF 経路の拮抗薬となります（類似性による）。これにより、FGF 誘導性の網膜水晶体線維分化の拮抗薬として作用し、肢芽の伸展を阻害し、呼吸器官形成を負に制御する可能性があります（類似性による）。網膜水晶体上皮細胞における TGF $\beta$  誘導性上皮間葉転換を阻害します（類似性による）。CBL/C-CBL を介した EGFR ユビキチン化を阻害します（PubMed:17974561）。

## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の Sprouty 2 発現のウェスタン ブロット分析。